泥葬

竹内浩三

青空文庫

われ、山にむかいて、目をぞあぐる。わがたすけは、いづくよりきたるならん。

（讃美歌第四百七十六）

腐り船

鼻もちならねえ、どぶ水なんだ。屍臭を放つ腐り船が半沈みなんだ。青みどろなんかが、からみついてるんだ。

舷側にたった一つ、モオゼのピストルが置いてあるんだ。しかも、太陽はきらきらしているんだ。

星夜

月はないけれど、星が一杯かがやいていた。気色のわるいほど、星には愛嬌があった。

ぼくは、ワイシャツのはじをズボンからはだけさせて、寝静まった街を歩いていた。

日記

ふしぎな日であった。池袋でも、新宿でも、高円寺でも、そして神田でも、友だちに会った。彼らは、みんなぼくにあいそよくしていた。

中野のコオヒイ店で、ぼくに会った時には、ぼくはまったくびっくりしてしまった。

フロイド

女のことばかり考えている日があった。

机の上に、蛾がごまんと止まっている夢を見た日であった。

その日の夕刻には、衛生器具店の陳列棚を眺めて暮らした。

オンナ

そのころ、ぼくは、恋人の家によく泊ったものだ。となりの部屋で、恋人の兄貴と一緒に寝たものだ。

すると、ある夜、恋人が手淫をはじめたらしい物音がしてきたんだ。あのときほど、やるせなく思ったことはなかった。

戦場

十畳の部屋は、戦場のように崩れていった。

裸の書物や、机から落ちたインキ壺や、裏むきになった灰皿や、ゲートルと角力を取っている屑フィルムや、フタのないヤカンが、その位置で根を張りだした。手のほどこしようは、もうとっくになくなった。どうにでもなりくされ。

青空文庫情報

底本：「竹内浩三全作品集　日本が見えない　全1巻」藤原書店
2001（平成13）年11月30日初版第1刷発行
2002（平成14）年8月30日初版第5刷発行
入力：坂本真一
校正：雪森
2014年10月13日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

泥葬

竹内浩三

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/